

ISSN-1348-8872

# AMAMI News Letter

NO.27

<2006年度 夏季号>



## ■特別寄稿

奄美の研究イノベーションと包括連携協定

## ■研究調査レビュー

闘牛をめぐる情報発信とネットワーク形成

屋久島の資金循環構造

## ■ Special Report

- 1 Research Innovation in Amami Studies under the Kagoshima University Co-operative Agreement with Amami City

YAMADA Makoto

(Faculty of LEH, Kagoshima Univ. )

## ■ Research Review

- 9 Information transmission and network formation on bullfighting

OZAKI Takahiro

(Faculty of LEH, Kagoshima Univ. )

KUWAHARA Sueo

(Faculty of LEH, Kagoshima Univ. )

NISHIMURA Akira

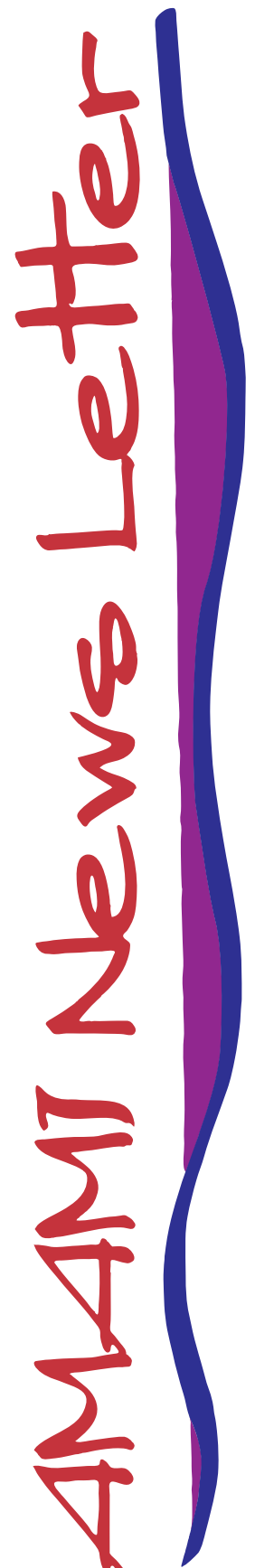
(Faculty of LEH, Kagoshima Univ. )

- 18 Money Flow in Yakushima

NAGATA Kunikazu

(Faculty of LEH, Kagoshima Univ. )

## ■ Information



## 奄美ニューズレターについて

- 奄美ニューズレターは、2003年度からはじまった鹿児島大学全学総合プロジェクト「島嶼圏開発のグランドデザイン----南西諸島における環境ガバナンス型地域政策」の成果を発表する目的で発刊されました。
- 奄美群島および沖縄を含む広い南西諸島を沖縄ではなく、奄美群島から分析しようという新しい試みです。
- 研究は、文化・自然・人・経済・情報・農学・工学という鹿児島大学の研究者を中心とする研究グループによって行われております。奄美ニューズレターは、その研究を広く南西諸島の研究者に公開し、わが国の島嶼研究の向上を目指すものです。
- 奄美ニューズレターは、2005年11月に発刊された24号まで、月刊でしたが、2006年1月発刊の25号からは、発行責任を奄美委員会が担うことになり、1年間計4号を季刊で発刊することになりました。
- 奄美ニューズレターは、25号から季刊の学術雑誌となり、下記の内容を掲載いたします。
  - ・研究調査レビュー 鹿児島大学所属の研究者からの成果発表
  - ・しまゆむた 奄美群島区の地元研究者からの現地レポート
  - ・島嶼スケッチ 上記以外の寄稿文
  - ・鹿大資料紹介 鹿児島大学所蔵奄美資料の紹介
  - ・ちーびし 執筆者紹介、奄美関連の行事案内、編集後記
- 企画と編集を担当する奄美委員会のメンバーは、下記のとおりです。

### 奄美委員会

研究科長	木部 暢子	
奄美サテライト特任教授	井上 晃男	
奄美委員会委員長	山田 誠	
法政策学科選出委員	飯田 泰雄	永野 司
経済情報学科選出委員	皆村 武一	山田 誠
人文学科選出委員	桑原 季雄	東 英寿

## 目次

### ■特別寄稿

- 奄美の研究イノベーションと包括連携協定  
山田 誠（鹿児島大学法文学部）—————1

### ■研究調査レビュー

- 闘牛をめぐる情報発信とネットワーク形成  
尾崎 孝宏（鹿児島大学法文学部）  
桑原 季雄（鹿児島大学法文学部）  
西村 明（鹿児島大学法文学部）—————9

- 屋久島の資金循環構造  
永田 邦和（鹿児島大学法文学部）—————18

- ちーびし—————24